



平成25年度  
環境活動レポート

(期間:平成 25 年3月 1日～平成 26 年2月28日)

平成 26 年6月1日

 **株式会社 トキワ**



第一章 環境理念・環境方針	.....3
第二章 組織の概要	.....4～5
第三章 エコアクション21組織図及び担当者役割	.....6
第四章 環境目標及び活動実施結果	.....7～12
第五章 平成24年度環境目標及び環境活動計画	.....13～14
第六章 環境関連法規等の取りまとめ	.....15
第七章 外部からの苦情等の受付結果	.....15
第八章 代表者の見直し	.....16



## 第一章 環境理念・環境方針

# 環境理念

株式会社トキワの社名は「あざやかな緑を保つ<sup>トキワギ</sup>常盤木、いつもみずみずしく栄えてありたい」の願いの下、命名したものです。

その理念に沿い、我々はゴム・プラスチックを素材とする製品群の販売活動の中で「地球環境を守る」をスローガンに、全社員が環境保全活動に取り組み社会的責任を果します。

# 環境方針

1. 環境関連法規を遵守します。
2. 当社の事業活動に伴う 資源・エネルギーの効率的活用削減に取り組みます。
  - ① 省エネルギーのためガソリン・軽油・電気使用量を削減します。
  - ② 省資源活動のため紙の使用量を削減します。
  - ③ 廃棄物削減のため、リサイクルに積極的に取り組み環境汚染の予防に努めます。
  - ④ 水の節水に努めます。
  - ⑤ エコ商品の販売、グリーン調達の推進に努めます。
3. 全社員に環境教育、周知を推進すると共に環境保全活動に参加し貢献します。
4. 当社の環境方針は社外に公開します。

平成22年4月12日改定

 株式会社 トキワ

代表取締役 中山 貞 憲



## 第二章 組織の概要

事業所名 株式会社 トキワ  
代表者氏名 代表取締役社長 中山 貞 憲  
資 本 金 8, 0 0 0 万円  
創 業 大正 1 0 年 4 月 1 0 日  
設 立 昭和 2 3 年 1 0 月 2 日

本社所在地 〒812-0016

福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目4番30号

TEL 092-451-0121 (代表)

FAX 092-473-9097

H P <http://www.tokiwa-net.com>

環境管理者 総務課 北原 一 範

事業内容 ゴム・プラスチック製品及び産業機械、機械工具の卸売業

弊社は、創業大正10年より九州管内をテリトリーとして、ゴム製品・プラスチック製品を小売店様及び生産工場などのユーザー様に、お客様との信頼関係を第一に考え販売活動を行っています。

### 製品概要

各種工業用ゴム及び樹脂ホース・各種工業用樹脂素材及び加工  
産業用、土建用シート及びフィルム、マット・ゴム板及び各種パッキン  
土木資材・各種伝動用、搬送用ベルト・各種靴、合羽、手袋  
産業機械・機械工具

事業の規模 (事業年度 : 3月～翌年2月)

	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
売上高	百万円	3, 6 1 8	3, 5 8 3	4, 0 1 6
従業員数	人	7 1 名	7 1 名	6 6 名
床面積	m <sup>2</sup>	4 8 3 6. 8 0	4 8 3 6. 8 0	4 7 8 1. 5 0



## 事業所

本社及び営業課 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目4番30号  
TEL : 092-451-0121 FAX : 092-473-9097  
床面積 : 事務棟 (1F~3F) 1,1146 m<sup>2</sup>  
倉庫棟 (1F~4F) 768 m<sup>2</sup> 合計 1,914.0 m<sup>2</sup>  
従業員 : 32名

熊本支店 〒861-4106 熊本県熊本市南区南高江3丁目2番21号  
TEL : 096-311-3120 FAX : 096-311-3123  
床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 1,115.5 m<sup>2</sup>  
従業員 : 9名

大分営業所 〒870-0912 大分県大分市原新町15番14号  
TEL : 097-558-2323 FAX : 097-558-2325  
床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 475.0 m<sup>2</sup>  
従業員 : 9名

長崎営業所 〒856-0028 長崎県大村市坂口町539-4  
TEL : 0957-52-3380 FAX : 0957-52-3943  
床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 413.3 m<sup>2</sup>  
従業員 : 6名

北九州営業所 〒802-0976 福岡県北九州市小倉南区南方5丁目21番1号  
TEL : 093-964-0062 FAX : 093-964-0063  
床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 512.5 m<sup>2</sup>  
従業員 : 6名

平成25年3月1日付け

認証・登録範囲 : 本社・熊本支店・大分営業所・長崎営業所・北九州営業所

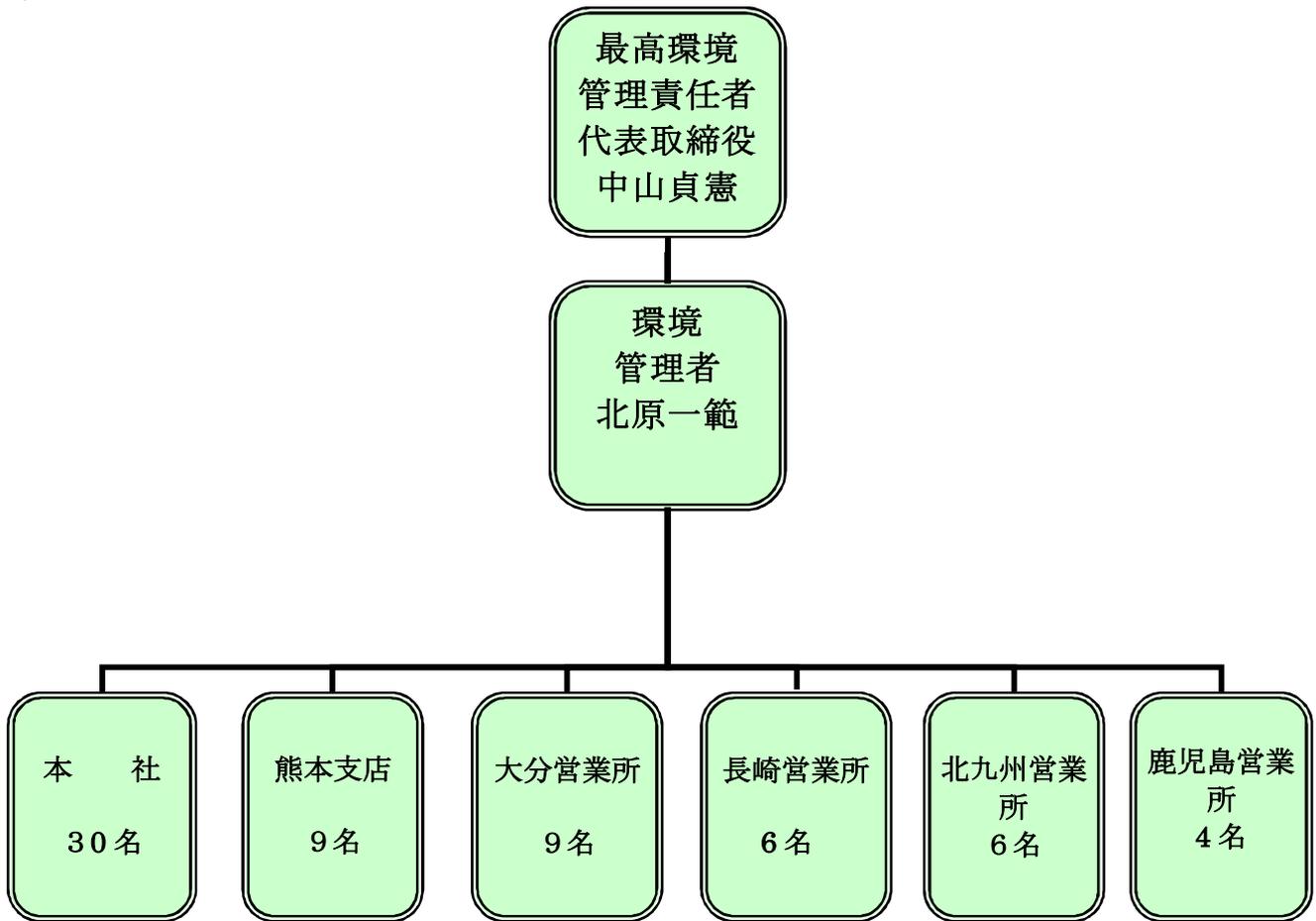
平成25年3月1日 新事業所開設により平成25年度にエコアクション2.1追加登録を目指す

鹿児島営業所 〒891-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目3-60  
TEL : 099-210-8857 FAX : 099-210-8858  
床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 351.20 m<sup>2</sup>  
従業員 : 4名

平成25年11月1日 鹿児島営業所追加登録承認



### 第三章 エコアクション 2.1 組織図及び担当者役割



本社（営業課・商品課・総務課 各事業長）については下記明細となります。

営業課 営業部部長 以下 15名 商品部 商品部部長 以下 11名

総務部 総務部次長 以下 2名

平成25年3月1日付け

#### 職責別担当者の業務内容

	担当者	担当者	実行内容	人数
1	最高環境管理責任者	代表取締役	環境方針の作成 取組の為、人・物・金について資源を準備する 環境目標の決定・環境目標達成状況の確認及び修正 環境活動レポートの承認 代表者による全体の評価と見直し	1
2	環境管理者	総務部次長	環境目標の策定・環境目標達成状況の確認及び修正 環境活動計画の決定及び実施状況の確認・環境活動教育 環境活動レポートの作成及び最高責任者への提出 環境教育の策定・外部からの苦情及び緊急事態の発生時の 部会長への指示・法令順守指導	1
3	部会長	各事業所長	部門別環境活動計画及び目標の策定・四半期環境活動計画 の評価及び承認・環境教育の実施・外部からの苦情及び 緊急事態の発生について対応、受付及び連絡票の作成	6
4	各責任者	事業部責任者	環境活動計画の実施及び各員への指示・反省 部会長への報告	—
5	社員	事業部門員	環境活動の実施	—



## 第四章 環境目標及び活動実施結果

### ① 平成25年～平成27年環境目標

### 環境目標

環境目標 (目標設定基準)	単位	平成25年度 (H25.3.1～ H26.2.28)	平成26年度 (H26.3.1～ H27.2.28)	平成27年度 (H27.3.1～ H28.2.29)
1 二酸化炭素排出量の削減 基準値 (H24実績+鹿児島推定値) 286,095 kg-co2	Kg-CO2	269,380 以下 (94.2%以下)	266,700 以下 (93.2%以下)	264,050 以下 (92.3%以下)
2 廃棄物排出量の削減 基準値 (H24実績+鹿児島推定値) 15,411 Kg	Kg	15,250 以下 (99%以下)	15,100 以下 (98%以下)	14,960 以下 (97%以下)
3 節水活動の推進 基準値 (H24実績+鹿児島推定値) 807 立米	立米	797 以下 (98.8%以下)	787 以下 (97.5%以下)	777 以下 (96.3%以下)
4 エコ商品の販売 基準値 (H24実績+鹿児島推定値) 51,437 千円	千円	53,000 千円 (3%アップ)	54,610 千円 (6.1%アップ)	56,260 千円 (9.3%アップ)
5 事務用品のグリーン購入 基準値 (H24実績+鹿児島推定値) 46.53%	%	48%以上	49%以上	50%以上

注

各環境目標については、鹿児島営業所開設の為（H25.3月開設）平成24年度実績に鹿児島営業所推定値を加味し基準値を作成して環境目標を策定。

排出係数に関して、2010年九州電力CO2排出係数実績（0.385kg-CO<sub>2</sub>/kWh）を使用して目標作成

### ② 事業所別平成25年度環境目標（期間：平成25年3月1日～翌2月28日）

事業所/ 単位 平成25年度	二酸化炭素排出量削減	廃棄物排出量削減	節水活動の推進	エコ商品の販売	事務用品のグリーン購入
	Kg-CO2	Kg	立米	千円	%
本社	117,290 以下	6,820 以下	422 以下	21,650 以上	53%以上
熊本支店	38,100 以下	2,330 以下	172 以下	9,440 以上	22%以上
大分営業所	30,200 以下	1,920 以下	81 以下	7,630 以上	28%以上
長崎営業所	30,250 以下	2,260 以下	54 以下	7,170 以上	64%以上
北九州営業所	33,510 以下	1,150 以下	40 以下	2,660 以上	95%以上
鹿児島営業所	20,030 以下	770 以下	28 以下	4,450 以上	48%以上
全社計	269,380 以下	15,250 以下	797 以下	53,000 以上	48%以上



### ③平成 25 年度期間活動計画、取組み及び結果

#### 3-1 (二酸化炭素排出量の削減及び節水活動の推進)

平成 25 年度 期間： 3月~翌2月	1、二酸化炭素排出量の削減			2、節水活動の推進		
	Kg-CO <sub>2</sub>			立米		
	目 標	実 績	判 定	目 標	実 績	判 定
本 社	117,290	116,112	○	422	518	×
熊本支店	38,100	39,041	×	172	161	○
大分営業所	30,200	31,396	×	81	91	×
長崎営業所	30,250	30,006	○	54	53	○
北九州営業所	33,510	36,156	×	40	45	×
鹿児島営業所	20,030	17,373	○	28	55	×
全 社 計	269,380	270,261	×	797	923	×

#### 1. 二酸化炭素排出量の削減

当年度の成績は、対目標 100.26%と 0.26%のオーバーとなった。その中で達成できたのは、本社 長崎営業所 鹿児島営業所で、内容としてはガソリン使用量で削減できた本社 長崎営業所 まめに電力を消灯し節減できた鹿児島営業所となった。ガソリン使用量は、鹿児島営業所新設の為、車両台数が減った長崎営業所 営業員 1 名減員の中活動した本社での削減が大きく寄与した。

#### 2. 節水活動の推進

全社にて、115.8%と 15.8%削減できなかった。

特に本社は 社員寮に 1 名入寮したものと、鹿児島営業所にて降灰による清掃にて予定外の使用があったことが大きい。



### 化石燃料別成績

化石燃料の種類	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	増減率
電力	Kg/co2	57,098	58,368	+2.2% 増加
都市ガス	Kg/co2	5,866	5,775	△1.6% 削減
LPG ガス	Kg/co2	114	102	△10.5% 削減
ガソリン	Kg/co2	184,422	198,963	+7.9% 増加
軽油	Kg/co2	18,567	6,175	△66.8% 削減
A重油	Kg/co2	0	0	

1. 電力使用量 2.2% ガソリン使用量 7.9%と 化石燃料で一番使用量が多い部分が残念ながらオーバーしているが、売上の2桁増加及び鹿児島営業所の新設を考えると、変動費として考えれば抑えられたのではないかと考える。
2. 軽油に関しては、平成26年2月末までには軽油仕様車は、本社トラックの1台のみとなった。
3. 重油は、暖房機械の切替で使用しない。

### 3-2 (廃棄物排出量の削減)

平成24年度 期間： 3月~翌2月	3、廃棄物排出量の削減		
	Kg		
	目標	実績	判定
本社	6,820	11,848	×
熊本支店	2,330	2,428	×
大分営業所	1,920	1,676	○
長崎営業所	2,260	2,569	×
北九州営業所	1,150	990	○
鹿児島営業所	770	699	○
全社計	15,250	20,210	×



### 廃棄物排出量の削減結果

年間としては、対目標 132.5%と大きくオーバーした。

内容は、起点となる本社にて売上増に伴う、ダンボール及び可燃ごみ（梱包材、緩衝材）などの廃棄が多くなり対目標 173.7%と大きくオーバーした。

熊本支店 117.4% 長崎営業所 113.7%オーバー。

達成事業所としては、大分営業所 87.3% 北九州営業所 86.1% 鹿児島営業所 90.8%であった。

好成績事業所では、出荷時の再利用が大きく寄与しているようにコメントしている事業所が多く、他事業所にも再利用を促したい。

### 3-3 (エコ商品PR・販売活動実績)

目標 : エコ商品の販売 年間 53,000 千円

単位 : 千円

	本社営業課	熊本支店	大分営業所	長崎営業所	北九州営業所	鹿児島営業所	合計
目標	21,650	9,440	7,630	7,170	2,660	4,450	53,000
実績	28,630	7,734	6,728	8,470	1,473	4,563	57,598
対目標達成率	132.2%	81.9%	88.2%	118.1%	55.4%	102.5%	108.7%

### エコ商品の販売実績結果

エコ商品の販売実績として、開発課を中心に活動を進め、本社 長崎営業所にて省力設備を受注し大きく寄与した。

### 3-4 (グリーン購入成績表)

	本社	熊本支店	大分営業所	長崎営業所	北九州営業所	鹿児島営業所	全社
グリーン購入率目標	53%以上	22%以上	28%以上	64%以上	95%以上	48%以上	48%以上
グリーン購入率	51.83%	27.26%	18.62%	61.10%	55.8%	54.5%	47.74%
判定	×	○	×	×	×	○	×

グリーン購入に関しては、事務用品をたのめーるにて購入した分にて表示。

### グリーン購入成績結果

グリーン購入については、僅かであるが達成できなかった。

事務用品のグリーン調達を行っているが、購入品に大きく変化がないので全体的に大きく変化しない。



④環境負荷の削減についての活動結果

取組	取組目標	事業所	活動項目		判定
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	全社	1	事務所及び倉庫の昼休み中の消灯及び未使用室の電源切	◎
		全社	2	業務未使用中のパソコン及び昼休み中の電源切	○
		全社	3	電気冷房及び暖房の温度設定を取り決めに沿って行う。	◎
	ガソリン・軽油の削減	全社	1	エコ運転の徹底	◎
水資源の削減	水使用量の削減	全社	1	水使用時の節水活動	○
環境負荷の削減	エコ商品のPR	全社	1	エコ商品の販売	◎
	グリーン調達	全社	2	事務用品をたのめーるにて購入グリーン調達比率アップ	△

取組	取組目標	事業所	活動項目		判定
廃棄物の削減	廃棄物の削減	全社	1	廃棄物の分別廃棄の徹底	◎
			2	ダンボールの再利用	○



## 「活動評価について」

### (二酸化炭素排出量の削減)

- 1.二酸化炭素排出量の削減については、特にエコ運転でのガソリン使用量の削減を行えたことと、電力使用量の削減での未使用室のまめな消灯が徹底され意識付けが出来ている。

### (廃棄物排出量の削減)

- 1.廃棄物排出削減については、多くの事業所にてダンボールの再利用が徹底され数値的にも反映できている。  
分別廃棄の意識付は徹底されているが、定期的な排出を推進したい。

### (節水活動の推進)

1. 水の節水に関しては、本社での入寮及び鹿児島営業所での降灰による清掃など、数値的増加理由が確認できており、活動自体は特に問題個所はない。

### (エコ商品のPR)

- 1.エコ商品の販売については、社長方針及び営業部方針のもと、各事業所 営業部長を筆頭に創業 100 年 50 億売上目標と第三の柱作りに向かって精力的に活動できている。

### (グリーン調達の実施)

- 1.購入品目がある程度決まっている中、購買担当者は意識付けが出来ている。



①平成26年度環境目標

環 境 目 標 (平成26年度)

環境目標 (目標設定基準)		単位	平成26年度 (H26.3.1～ H27.2.28)	平成27年度 (H27.3.1～ H28.2.29)	平成28年度 (H28.3.1～ H29.2.28)
1	二酸化炭素排出量の削減 (基準値 270,261kg-co2)	Kg-CO2	267,370Kg-CO2 以下 (98.9%以下)	264,700Kg-CO2 以下 (98.0%以下)	262,050 Kg-CO2 以下 (97.0%以下)
2	廃棄物排出量の削減 (基準値 20,210kg)	Kg	20,000 Kg 以下 (99.0%以下)	19,780 Kg 以下 (98.0%以下)	19,560Kg 以下 (97.0%以下)
3	節水活動の推進 (基準値 923 m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	872 m <sup>3</sup> 以下 (94.5%以下)	860 m <sup>3</sup> 以下 (97.7%以下)	850 m <sup>3</sup> 以下 (96.7%以下)
4	エコ商品の販売 (基準値 57,598 千円)	千円	60,000 千円 (4.2%アップ)	63,000 千円 (9.4%アップ)	66,200 千円 (14.6%アップ)
5	事務用品のグリーン購入 (基準値 47.743%)	%	49%以上	50%以上	51%以上

鹿児島営業所のエコアクション 21 の登録も出来、本年平成 26 年度は前年実績を基準値にしている。

排出係数については 2010 年九州電力 CO2 排出係数実績 (0.385kg-CO2/kWh) を使用して目標作成



②平成 26 年度環境活動計画

取組	取組目標	事業所	活動項目	
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	全社	1	事務所及び倉庫の昼休み中の消灯及び未使用室の電源切
		全社	2	業務未使用中のパソコン及び昼休み中の電源切
		全社	3	電気冷房及び暖房の温度設定を取り決めに沿って行う。
	ガソリン・軽油の削減	全社	1	エコ運転の徹底
水資源の削減	水使用量の削減	全社	1	水使用時の節水活動
廃棄物の削減	廃棄物の削減	全社	1	廃棄物の分別廃棄の徹底
	〃	全社	2	ダンボールの再利用
エコ商品の販売	エコ商品のPR	全社	1	エコ商品の販売実績の達成
グリーン調達	事務用品のエコ商品調達の比率を上げる	全社	1	事務用品のエコ商品調達比率を上げる

当年度も、同じ内容にて活動を積極的に行う。



## 第六章 環境関連法規等の取りまとめ

平成26年6月1日現在、環境関連法規を遵守し、関係機関や利害関係者の指摘、苦情、訴訟はありませんでした。

環境法規名称	届出・作業等	適応範囲	適応条件	遵守事項	主管部門	判定	確認者
消防法	消化設備法定点検	火災報知機・煙探知機・消火栓・消火器		消防法年2回の点検 3年に1回法定点検を 消防署への報告	総務課 各事業所	○	北原
	指定可燃物の取扱	指定可燃物の貯蔵・取扱の基準		市町村条例（火災予防条例）にて 指定数量5倍以上 消防所長に届出	熊本支店 支店長	○	北原
	産業廃棄物	廃プラスチック ゴムくず	委託基準 委託先の許可証の確認	収集運搬及び処分業者の委託契約書の取交し 及び許可証の確認 中間処理場などの確認	総務課 各事業長	○	北原
廃棄物処理法	産業廃棄物	廃プラスチック ゴムくず	マニフェストの交付	適合マニフェストの使用	総務課 各事業長	○	北原
			マニフェストの管理及び保管	マニフェスト管理帳の作成及び交付→回収の確認	総務課 各事業長	○	北原
			マニフェスト票に関する知事への定期報告	毎年6月30日までに前年度（3月31日以前の1年間に交付したマニフェスト交付状況を様式第3号により知事等に提出する。 （政令指定都市の場合読替政令にて市ゴミ対策課に提出）	総務課 各事業長	○	北原
			契約書の取交し	廃棄業者との産業廃棄物廃棄にかかわる契約書を取り交わす	総務課 各事業長	○	北原

## 第七章 外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情等の受付はありませんでした。



日 時 : 平成 26 年 4 月 25 日 (金) 11:00~11:50

場 所 : 本社 3 階 小会議室

参加者 : 中山社長・江崎部長・北原環境管理者

議 題 : ①平成 25 年度環境目標及び環境活動についての実績報告と指示及び機能性・有効性について

②平成 26 年度環境目標及び環境活動目標について

内 容 :

①平成 25 年度環境目標及び環境活動についての報告と指示及び機能性・有効性について

最高環境管理者（社長）より、当年売上が二桁のびたにも係らず

二酸化炭素排出量対計画 100.26% と僅か 0.26%に留まったことは各員の地道な活動が功を奏したものとする。

又、廃棄物に関しては、売上規模の大きい本社・熊本そして特定ユーザーをかかえる長崎が目標を大きくオーバーした。

売上増での変動部分が多いが、再度リサイクル等の活動を進めるように指示があった。

エコ商品の販売に関しては、目標も達成できているが、開発課を起点に数字が大きくなっていることは喜ばしい。

上記から平成 25 年度エコアクション 21 環境経営システムは、売上増にも対応できるシステムが構築され、有効に機能していると判断する。

又、環境方針及びそれに取り組む責任者及び新人の教育についても行われており、全社的に取り組めており適切に実施されている。

従って、来年度も機能面及び活動面双方継続する。

②平成 26 年度環境目標及び環境活動について

平成 25 年鹿児島営業所の開設により、想定基準値を作成して目標作成し活動を行った結果、11 月に追加登録が出来た。平成 25 年度の各事業所の実績が出来たのでそれを基準値とし、その実績の 1%削減を目標に平成 26 年度環境目標を作成するように指示があった。

又、エコ商品の販売については、前述の通り 1 つの柱となるように考えているので、平成 26 年度目標を 4.2%アップの年間 60,000 千円をめざし活動を行うように指示があった。

上記、2 点の見直しの指示があり 11:50 分に閉会し解散となった。



 株式会社 トキョ